卒業論文

陰キャ・陽キャの社会学

―二分化されるクラスの人間関係―

九州大学　文学部　人文科学　人間コース
社会学・地域福祉社会学専門分野
２０１９年度入学　1LT19061Y　大瀬孝幸

2022 年 1 月提出

要約

本論文では近年若者の間で使われる「陰キャ」「陽キャ」という概念が若者にどのように捉えられているのかについて明らかにしていく。具体的に今回は高校生時期に絞って調査、考察を行っている。

第一章では研究目的を述べている。近年中高生の間で使われている「陰キャ」という言葉は「インキャラ」の略語であり、日本語俗語辞書によると「陰気」と「キャラクター」から成る合成語で陰気な人や根暗な人という意味であるという。(知念 2018) また、実際の性格が暗いか否かに関係なくクラスやグループの人 (特にいじめっ子・いじめグループ) から嫌われることで陰キャラと呼ばれることも多く、そういう意味では『いじめられっ子』『嫌われキャラ』に近いとされている (知念 2018)。陰キャに関しての先行研究はまだ少なく、知念渉の著書『＜ヤンチャな子ら＞のエスノグラフィー―ヤンキーの生活世界を描き出す―』にて少し触れられている程度である。そのため本論文ではアンケート調査とインタビュー調査を行い、陰キャとは何かについてできる限り明らかにしていく。また陰キャとセットで用いられる「陽キャ」という言葉も一緒に考察を行っていく。

第二章では先行研究のレビューを行っている。陰キャに直接的に関連する文献は少ないので、まずは現代の若者を取り巻く環境について触れ、排除の問題とも絡むと考えたため「いじめ」問題についてもまとめている。さらにクラスの人間関係とも関連するとしてスクールカースト論や主に学校で周縁化された存在をターゲットにまとめている。そして陰キャについては『＜ヤンチャな子ら＞のエスノグラフィー』をメインにして、そこで語られているインキャラ像を整理している。

第三章ではアンケート調査の結果をまとめている。アンケート調査では陰キャ・陽キャに対するイメージ、自身を陰キャ・陽キャであると思っていたか、陰キャ・陽キャの特徴について質問を行い、その結果をグラフとともに載せている。

第四章では大学生 8 人のインタビュー協力者の語りを載せている。インタビューは zoom を用いたオンライン形式で執り行った。インタビュー協力者たちは各々自身の高校生活を振り返って、陰キャ陽キャがどのようなものとして捉えていたのかについて語ってくれている。そこではクラス内の人間関係を陰キャ・陽キャを用いて把握し、それがどのようなところで感じられるかについての具体的な事例を用いて語られている。

第五章では第四章のインタビュー協力者の語りを基に考察を行っている。そこでは陰キャが趣味を通して陽キャの人と繋がっていることや劣位な存在として考えられていた陰キャよりも下の存在、陰キャ・陽キャの言葉の使用などについてインタビューを受けて考察を行っている。

第六章では結論を記載している。今回の目的が陰キャ陽キャとは何かというところにあったので、特に重要だと考えた発見を中心にまとめている。そこでは陰キャが陽キャとのコミュニケーションの違いから一歩引いている様子が見えてきた。

目次

はじめに.....5
1　研究の目的.....6
2　先行研究レビュー.....8
2.1　いじめ問題について.....8
2.1.1　いじめの歴史.....8
2.1.2　いじめの定義変遷.....8
2.1.3 いじめの特徴.....8
2.2　土井隆義による現代若者の人間関係論.....9
2.3　個性化教育の始まり.....10
2.4　「コミュ力」の時代.....11
2.5　スクールカーストについて.....11
2.5.1　スクールカーストとは.....11
2.5.2　コミュニケーション能力の三要素.....12
2.5.3　カーストを把握する過程.....13
2.5.4　上位グループ・下位グループの特徴.....13
2.5.5　下位グループが力関係を受け入れる理由.....14
2.5.6　教師たちから見るスクールカースト.....15
2.6　周縁化された存在.....15
2.6.1　「コミュ障」と呼ばれる人たちの生きづらさ.....15
2.6.2　「非モテ」と呼ばれる人たちの生きづらさ.....16
2.6.3　新たな排除の形としての「インキャラ」.....17
2.7　小括.....21
3 アンケート調査.....22
3.1　アンケート調査の目的.....22
3.2　アンケート調査の概要.....22
3.3　アンケート調査結果.....22
3.4　アンケート結果の考察.....28
3.5　小括.....29
4　インタビュー調査.....30
4.1　インタビュー調査概要.....30
4.2　インタビュー協力者の語り.....31
4.2.1　A さんの語り.....31
4.2.2　B さんの語り.....33
4.2.3　C さんの語り.....37

4.2.4　Ｄさんの語り 44
4.2.5　Ｅさんの語り 47
4.2.6　Ｆさんの語り 49
4.2.7　Ｇさんの語り 52
4.2.8　Ｈさんの語り 55
5　考察 58
5.1　陰キャ・陽キャの言葉の使用について 58
5.2　「〇〇キャ」的意識の芽生え 59
5.3　陰キャが見下されているケース 60
5.4　趣味を通じてのつながり 61
5.5　陰キャ側の一歩引く様子 62
5.6　陰キャとそれ以下の地位 64
6 結論 66
参考文献
謝辞